

科目名称：	保育内容「表現A」の展開	
担当者名：	田島 千香子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	1
授業の目的・テーマ		
1年次の授業を踏まえ、領域「表現」のねらい及び内容について理解を深め、乳幼児の発達に即した造形表現活動の展開や実践力の向上を目指す。そのために、様々な素材・用具を活用した教材研究や保育の事例検討を通し、表現活動を構想、計画、実践する力を養うとともに、子ども主体の表現活動を支える環境や指導のあり方について学ぶ。		
授業の達成目標・到達目標		
①領域「表現」のねらい及び内容や他領域との関連性について実践的に理解を深める。 ②素材・遊びの応用や展開（造形活動・教材研究）を通し、乳幼児の実態に応じた造形活動を構想、実践する力を身に付ける。 ③子どもの豊かな表現を育むための環境構成や指導法を学ぶ。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	
DP (3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP (4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP (1)					0
幼児教育DP (2)					0
幼児教育DP (3)		20	50	30	100
幼児教育DP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 幼稚園教諭	《経験年数1》 34年
	《内容2》 保育士	《経験年数2》 2年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 乳幼児の生活と造形表現活動、素材・遊びの応用と展開① 身近な素材で行為を楽しむ (電子黒板使用)	シラバスを読んでおく。1年次に作成したファイルを準備しておく。	20分
第2回 幼児が会える用具の指導①「きる・くっつける」	幼児が使用する用具を調べ記しておく。	30分
第3回 幼児が会える用具の指導②「穴をあける・つなげる」	第2回の授業内容「幼児が会える用具の指導①」を復習しておく。	20分
第4回 素材・遊びの応用と展開② 糊から生まれる遊び (感触・行為を楽しむ)	第1回の授業内容「乳幼児の生活と造形表現活動」を復習しておく。	20分
第5回 素材・遊びの応用と展開③ 自然物から生まれる遊び (色・形・音を感じて遊ぶ)	「自然物で遊んだ幼少期の体験」について記しておく。	30分
第6回 素材・遊びの応用と展開④ しかけを楽しみながら描く (しかけのある紙の活用)	しかけの紙に関して調べておく。授業で指示された描画材料の準備をしておく	30分
第7回 事例検討①「保育事例」から子ども理解と表現過程の大切さを学ぶ (グループワーク・電子黒板使用)	領域「表現」のねらい及び内容を把握しておく。	20分
第8回 事例検討②「造形活動—保育現場のQ&A」から援助と環境構成を考える。(グループワーク・電子黒板使用)	第7回の授業内容「子ども理解と表現過程の大切さ」を復習しておく。	20分
第9回 素材・遊びの応用と展開⑤ いろいろな素材に描いてみよう (描画素材の工夫)	紙以外に描くことができる素材を調べておく。必要な描画材料の準備をしておく	30分
第10回 素材・遊びの応用と展開⑥ つくって、遊んで、またつくる (回る素材の発見・他領域との関連性)	身近な素材を使い、「回る」を楽しめる子どもの玩具を調べておく。	30分
第11回 事例検討③ 表現を支える保育者の役割を考える (DVD視聴)	第7, 8回の授業内容を復習しておく。	20分
第12回 事例検討④ 行事における造形活動の在り方 (電子黒板使用)	「実習時の行事に関する造形活動」について記しておく。	30分
第13回 協同的な造形活動① 活動内容の計画・材料選択 (グループワーク)	幼稚園教育要領第1章第3節の(3)と(6)を読み、把握しておく。	30分
第14回 協同的な造形活動② 活動内容の実践・考察 (協同的な活動の意味を考える) (グループワーク)	グループで相談し、活動に必要な材料を収集しておく。	30分
第15回 乳幼児の育ちと造形表現活動、授業の振り返りとまとめ、小テスト (電子黒板使用)	第14回までの授業内容を復習しておく。	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、上記内容以外に次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。  
提出物(毎回のワークシート、課題プリント等)50%、授業への積極的関与30%、小テスト20%

#### 課題に対するフィードバック

毎回提出されるワークシート及び課題プリント等は、評価し返却する。

#### 教科書・参考書

参考書:「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型こども園教育・保育要領解説」  
料等:授業内で適宜資料を配布する。

参考資料